

ブルジョア階級の軍国主義へいいえ！

労働者階級の無条件の防衛のために

帝国主義ブロックは世界大戦に、備えと再軍備するを進めている。国際労働者階級は唯一の武器である、階級闘争によってしか対応できない！

世界の年間軍事費は2兆2000億ドルを突破し、ロシアとアメリカの核兵器条約は崩壊し、ドイツや日本など大国は第二次世界大戦後初めて再軍備し、ウクライナ戦争はヨーロッパ全体を巻き込み恐れがあり、南シナ海は巨大な軍事化地帯となり、全人類を巻き込みが高米中戦争の前兆となっている。

国際ブルジョア階級は使い古された民族主義の旗を掲げ、労働者が互いに殺し合うに説得せよ、全体主義、ファシズム、似非「共産主義」に満ちたブギーマンを振りかざしに等しい人種や宗教の違いといった欺瞞。

この下劣なブルブルジョア階級宣伝に対して共産主義者は答える、この新しいプロレタリアに大虐殺準備しには、ただ一つの原因がある：それは支配階級の為と資本の益金を守ることであり！一般戦争はすべての前線に帝国主義的であります！

経済危機が深刻化し、国家と企業の債務が増大し、世界中の政府が軍事費を増やしているにも拘る、この3年間資本主義経済は、あらゆる種類の妨害に悩まされてきた。一方では、商品の過剰生産があり、他方では、利益率の低下傾向、投資の収益性の低下、社会性のある生産と少数者のみの消費の間の格差拡大による資本主義生産の継続不可能のために市場で不足しているのである。

経済危機に見舞われたグローバル資本主義は、崩壊に近づきつつある。社会主義か資本主義かという旧来のアンチテーゼが、社会主義か人類滅亡かというアンチテーゼに変容するほどの歴史的危機に陥りつつあるのである。

資本の最後の大きな経済危機、1929年に米国に端を発した危機は、第二次世界大戦の破壊と虐殺によってのみ解決することができた。その世界的な帝国主義の大虐殺は、7000万人以上の人々（ほとんどがプロレタリア）を消滅させ、地球全体にわたって生産能力をほぼ完全に破壊することになった。

第二次世界大戦後の30年間は、資本主義にとって「黄金時代」であった。ソ連と米国の2つの帝国主義圏が戦利品を分け合い、それぞれの勢力圏のプロレタリアートを牽制していたため、戦争で破壊されたインフラや都市を再建する機運から、蓄積のプロセスが利益を得ていた。

また、腐敗した植民地・封建体制に対するブルジョア革命が相次ぎ、東・南アジア、インド、中国を中心に、地球の隅々まで資本主義が定着していった。資本主義的生産システムのこのような惑星の拡大は、莫大な利益の蓄積を可能にしたが、労働者階級に繁栄をもたらさず、全世界に不幸と搾取を拡大したに過ぎない。実際、世界の33億人の賃金労働者の大多数は、いまだに飢餓賃金で、経済的保障もなく、不相应な生活条件のもとで働いている。

しかし、生産手段の絶え間ない技術開発は、生産における資本の収益性を崩壊させ、金融投機における刹那的で不毛な投資へと資本を押しやる。

しかし、国家が公的債務によって危機を封じ込めるためのあらゆる手段は、ついに効果を発揮せず、ブルジョア階級は、破産しないために、世界を軍事行動に駆り立て、その債務をすべて帳消しにする。戦争のための武器生産と戦争そのものが、ブルジョア階級の経済システムを締め付ける過剰生産の危機から抜け出すために、ブルジョア階級に残された唯一の方法である。

だからこそ、様々な国家とその与党は、ナショナリズムを広め、労働者を、その生産様式を守るために、世界を戦争、恐怖、飢餓の深淵に陥れることを強いられた、ブルジョア階級の自殺的運命に縛り付けようとするのである。

しかし、それは、国際プロレタリアートであり、資本家によって封印された運命から人類を解放する道具を持つ、世界の数十億の労働者である：階級闘争である！

最近、ヨーロッパのいくつかの国、フランス、イギリス、ドイツ、ギリシャで、大規模なストライキ運動が起こっている。米国でも、さまざまなカテゴリーが関与する大規模なストライキが目撃されている。これらの闘争は、従うべき手本である。

資本主義は、賃金労働の搾取に基づく経済体制であるため、彼らの生活と労働条件を守る労働者階級の闘いは、資本主義体制に対抗し、第三次世界大戦を回避するための準備を始めることができます。労働の搾取に反対するすべての闘い、国民経済の名において犠牲を求める声を拒否することは、資本主義とその戦争に対する闘いである。労働者階級を擁護する闘いは、資本を害し、悪名高いブルジョア政治体制を弱体化させる前提である。労働者階級の闘いを団結させることが必要である。そのためには、あらゆる国で階級別組合を再建し、すでに存在しているところではそれを強化し、国家とボスに協力する体制的組合主義に反対することが不可欠である。真の労働組合だけが、国内的にも国際的にも、プロレタリアートの行動の統一のために闘うことができるだろう。

このようにしてのみ、全労働者階級を団結させる要求を闘争の議題とすることが可能になる：

- 賃金の防衛と引き上げ、賃金の低い人ほど大きく引き上げる；

- リズム、労働時間、労働生活の削減

- 失業者に完全な賃金を与える。

これらの目標にのみ、労働者のストライキとデモは、時間的にも空間的にも収束することができる。これは、プロレタリアートが、その党である国際共産党の指導の下で、賃金労働体制の打破、共産主義革命のために、再び闘争に戻ることができるようにするための不可欠な前提条件である！

党は、共産主義に対する人類の必要性、階級的連帯の良心、革命的マルクス主義の科学、2世紀にわたる輝かしい労働者の闘争の経験の宝庫である。

**戦争に屈服せよ！
資本主義の体制は崩壊
せよ！
共産主義万歳！**

国際共産党

international-communist-party.org